

シンポジウム

コロナ禍で顕在化した危機・リスクと 社会保障・社会福祉

～ 誰一人取り残さない制度・支援への改革～

日本学術会議社会福祉学分科会が表出した（予定）「見解：コロナ禍で顕在化した危機・リスクと社会保障・社会福祉～誰一人取り残さない制度・支援への改革～」にもとづき、見解執筆者らによる提案の背景、意義、内容の報告に対し、外部有識者らからのコメントをふまえ、誰一人取り残さない制度・支援への改革にむけた今後の展望について議論する。

登壇者



稲葉 剛



大和 三重



竹本 与志人



原田 正樹



古都 賢一



保正 友子



山野 則子



湯澤 直美



和気 純子



和田 肇

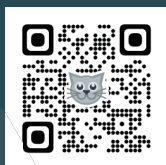
プログラム

- 開会 保正友子（日本学術会議連携会員 日本社会福祉系学会連合会長）
- 第Ⅰ部『報告』
 - 和気 純子（日本学術会議第一部会員 東京都立大学教授）
「趣旨説明、日常生活に支援を要する人の危機・リスクの低減と制度改革」
 - 原田 正樹（日本学術会議連携会員 日本福祉大学教授）
「生活困窮者における危機・リスクの低減と危機における差別防止と制度改革」
 - 山野 則子（日本学術会議特任連携会員 大阪公立大学教授）
「子ども家庭における危機・リスクの低減と制度改革」
 - 湯澤 直美（日本学術会議連携会員 立教大学教授）
「女性における危機・リスクの低減と制度改革」
- 第Ⅱ部『コメント・討論』
 - 和田 肇（日本学術会議第一部会員 名古屋大学名誉教授）
 - 古都 賢一（全国社会福祉協議会副会長）
 - 稲葉 剛（一般社団法人つくろい東京ファンド代表理事 立教大学客員教授）
- 閉会 竹本与志人（日本学術会議連携会員 岡山県立大学教授）
- 司会 大和三重（日本学術会議連携会員 関西学院大学教授）

2023 年
3月26日 On-Line
13:30～16:00

無料

お申込は
こちらから



お問合せ：0326symposium@gmail.com

主催 日本学術会議社会学委員会・社会福祉学分科会
共催 日本社会福祉系学会連合 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟
後援 社会福祉法人 全国社会福祉協議会 日本ソーシャルワーカー連盟（JFSW）